

3. 気象情報に注意する

台風等の気象情報は、テレビやラジオなどで最新の情報を収集し、市や防災機関の広報等にも注意して聞いておきましょう。インターネットでも最新の情報を見ることができます。
【宮古島气象台】<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



台風が遠くても要注意！

台風からの「うねり」に注意！

近年、台風からのうねりによる海難事故が発生しています！台風接近時に海岸に近づかないことはもちろんですが、台風が遠くにあるときの「うねり」にも十分な注意が必要です。

大雨・雷

予報用語	1時間雨量 (ミリ)	イメージ
やや強い雨	10～15	ザーザーと降る。
強い雨	15～20	どしゃ降り。
激しい雨	20～25	バケツをひっくり返したように降る。
非常に激しい雨	25～30	滝のようにゴーゴーと降る。
猛烈な雨	30～	息苦しくなるような圧迫感がある。

宮古島では、昭和34年の宮古島台風をはじめ、昭和41年(第2宮古島台風)や昭和43年(第3宮古島台風)に大きな台風に見舞われ、甚大な被害がありました。

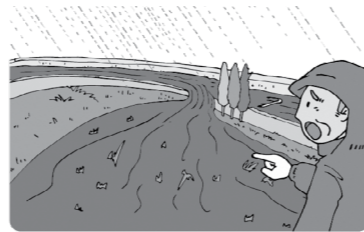
近年でも平成15年の台風14号や平成19年9月の大雨など浸水被害などが発生しています。地盤の弱い所や低地に住む方は、气象台から発生される情報を利用して早めの対策を心がけましょう。

1. 傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意

■大雨や集中豪雨で発生する土砂災害。

1. 小石がパラパラ落ちる。
2. 地面にひび割れができる。
3. 傾斜から濁った水が流れ出ている。

などを発見したら注意しよう！※また、避難勧告が出たらすぐに避難してください。



2. 雷の被害にあわないために

雷の稲妻と音の間隔が近くなったら家の中に入り、テレビのコンセントなど抜き、部屋の真ん中にいるようにしましょう。

また、野外では体を低くし、雷が遠ざかるのを待ちましょう。

避難のときは・・・

- できるだけ軽装で避難しましょう。
- 裸足、長靴は禁物。ひもで締められる運動靴がよいでしょう。
- はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難し、とくに子どもから目を離さないようにしましょう。
- 水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわからないので杖などで安全を確認してから歩きましょう。
- 風で危険なものが飛んでくるおそれがあるので、ヘルメットや防災ずきん、または厚手の帽子などをかぶるようにしましょう。
- 災害に備えて隣近所で声を掛け合い集団で避難しましょう。



災害に備えましょう！

梅雨が明け、本格的な夏の訪れとともに宮古島は「台風シーズン」に入りました。

平成15年9月。最大瞬間風速74.1mを記録し、宮古島に甚大な被害をもたらした台風14号から早14年。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われています。災害の発生を抑えることは難しいことですが、日頃から災害に備える意識をもつことで、「被害を減らす」ことは可能です。万が一に備え、日頃からの防災対策に取り組みましょう。

台風

予報用語	平均風速 (m/秒)	イメージ
やや強い風	10～15	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。
強い風	15～20	風に向かって歩けない。転倒する人がでる。
非常に強い風 (暴風)	20～25	しっかり体を確保しないと転倒する。
	25～30	立ってられない。屋外での行動は危険。
猛烈な風	30～	

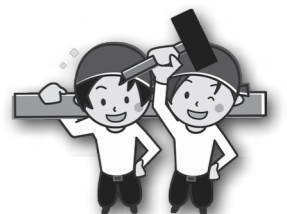
亜熱帯に位置する沖縄は絶えず台風の通り道となっています。平成15年9月10日に宮古島を直撃した台風14号は過去30年間で最大級の勢力で、最大瞬間風速は74.1mに達し、宮古島に甚大な被害をもたらしました。



暴風により倒壊した牛舎

1. 台風が近づきそうな時はまず家の補強

風が強くなる前に、家の補強をしましょう！補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、物干し、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。また、植木鉢は強風で倒されたり飛ばされるおそれがあるので、1カ所にまとめておくと安全です。



2. 停電や断水に備え非常品のチェック

食料、飲料水、懐中電灯、ライター、ラジオ、簡単な医療品は揃えてリュックに入れておきましょう。